



心臓財団 季報

No.180

● 財団法人日本心臓財団 ●

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル835区-A

○ Tel 03-3201-0810 ○ Fax 03-3213-3920 ○ e-mail: info@jhf.or.jp ○ http://www.jhf.or.jp/

September 1, 2005

生活習慣病予防セミナー開催のお知らせ

当財団では、生活習慣病予防の啓発活動の一環として、一般市民の方を対象とした「生活習慣病予防セミナー」を下記に掲載の全国10ヶ所で開催いたします。

本セミナーは、高血圧・糖尿病を中心に生活習慣病についての正しい知識と生活習慣の改善や予防方法を最先端の現場にいる医師からみなさまに直接お話ししていただきます。

正しい健康づくりのためには、みなさま一人ひとりが正しい知識を持ち、自らの意志で生活習慣を改善していただくことが大切です。

当財団では、このような活動を通じて、みなさまの健康づくりを応援しています。

詳しくはホームページ<http://www.e-yobou.jp/>をご覧ください。

開催期日	開催地	講師(予定)
2005年 6月28日	札幌・道民活動センター	札幌医科大学 島本 和明 教授
2005年 7月14日	名古屋国際会場	名古屋市立大学 木村 玄次郎 教授
2005年 9月6日	仙台国際センター	東北大学 今井 潤 教授
2005年 9月26日	東京・イイノホール	獨協医科大学 松岡 博昭 教授
2005年 10月22日	東京・アウラホール	東京都老人医療センター 桑島 巖 副院長
2005年 10月28日	横浜	横浜市立大学 枅久保 修 教授
2006年 2月9日	大阪	大阪大学 荻原 俊男 教授
2006年 2月24日	福岡	福岡大学 荒川 規矩男 名誉教授
2006年 3月11日	広島	済生会呉病院 松浦 秀夫 院長
2006年 3月	大宮	自治医科大学 島田 和幸 教授

「水と健康」

第42回日本臨床生理学会 市民公開講座

「知れば知るほど不思議な水の体質と体の関係」
水と健康をめぐる問題を楽しく解説します。

■ 「水の健康学」

藤田 紘一郎 (人間総合科学大学人間科学部)

■ 「温泉の健康増進効果」

鄭 忠和 (鹿児島大学循環器内科)

●日 時 : 10月15日(土) 午後3時~5時

●場 所 : 東京ドームホテル地下1階会場

●会 費 : 無料

●問合わせ : 日本医科大学第一内科

【電 話】03-3822-2131 【FAX】03-5685-0987

【E-mail】42rinshoseiri@nms.ac.jp

エコウォーカーソン2005 インジャパン 横浜大会 開催のご案内



平成17年10月23日(日)

集合/受付場所 パシフィコ横浜国際会議場(国立大ホール)

午前7時30分受付開始

午前9時30分/10時30分 2回のスタート

会場までのアクセス JR・横浜市営地下鉄、「桜木町」駅より

徒歩または動く歩道で約12分。

東急東横線「みなとみらい」駅より徒歩3分。

歩く距離 約10km

参加資格 どなたでも参加できます。

参加人数 6,000人(事前申込、先着順)

参加費 1,500円(内1,000円がチャリティとなります。)

小学生以下の方は無料で参加できますが、その場合チャリティへの参加はなく、参加賞、完歩賞は用意されていません。

持ち物 健康保険証(写し)、昼食、飲み物など

参加賞 オリジナルキャップ、参加パスポート 他

完歩賞 大会オリジナルTシャツ

大会終了 午後3時30分

申 込 郵便局から郵便振替にてお申込みください。

インターネットでの申込みもできます。詳しくは<http://www.walkathon.jp/tour-info/index.html>をご覧ください。申込み状況を確認される場合は、実行委員会までお問い合わせください。

振 込 先 口座番号：00120-8-548579

加入者名：エコウォーカーソン実行委員会
定員になり次第締切り

申込締切 10kmを完歩しますと1000円が実行委員会から当財団と日本ユニセフ協会に寄付されます。

お問い合わせ先 エコウォーカーソン実行委員会事務局

E-mail：info@walkathon.jp

TEL：03-3545-0084

FAX：03-3545-5155

(10時～17時)

沈黙の殺人者—高血圧の予防と管理

日本高血圧学会 市民公開講座

ご自身が高血圧の方、ご家族が高血圧の方など、どなたでも無料でご参加いただけます。

●申込方法

郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、参加人数を明記の上、「ファックス」または「はがき」、「e-mail」にて下記までお申し込み下さい。(お申し込みいただいた方には、確認はがきを郵送致します。)

●申込先

〒243-0013

神奈川県厚木市泉町3-14 東友ビル(株)メディカル東友内
「日本高血圧学会 市民公開講座」事務局

電話：046-220-0321 ファックス：046-220-1706

e-mail：jsh@mtz.co.jp

●日時：平成17年9月17日(土) 午後1時10分～3時10分

●会場：旭川市民文化会館「大ホール」

旭川市7条通9丁目

●電話：0166-25-7331

座長：愛媛大学名誉教授 日和田邦男

横浜市立大学名誉教授 石井 當男

講演1 ■ 身近に考えよう—北海道の生活習慣病

札幌医科大学名誉教授 飯村 攻

講演2 ■ 家庭血圧測定のすすめ—降圧薬治療の効果を確実に知るために—

東北大学名誉教授 阿部 圭志

講演3 ■ 高血圧の治療の仕方

福岡大学名誉教授 荒川規矩男

「ハートの日・健康フェア」開催

8月10日を「健康ハートの日」として、日本心臓財団では、心臓病予防の啓発活動を行っています。本年も、東京・豊橋・鹿児島で、さまざまなイベントが行われました。

東京では、「ハートの日・健康フェア」として、8月7日に東京駅八重洲地下街で、無料健康相談や体験コーナーなどが行われました。八重洲地下街での開催は、今年で3年目になります。新聞掲載やリピーターの影響もあり、昨年よりさらに多い人が訪れ、賑わいを見せました。

今年は、「メタボリックシンドローム」の診断基準をもとに、男性85センチ、女性90センチのリボンを用意して、ウエスト(おへそを通る腹囲)径の自己測定コーナーを設置しました。本人が思っている以上に太っていたと気づき、照れ笑いする人も。

そのほか体験コーナーでは、協賛企業の協力により、体脂肪、心電図(携帯型)、血圧、血管年齢、動脈硬化度

の測定、アーモンドの配布が行われました。

また、AED(自動体外式除細動器)の展示とデモンストラーションも行われ、多くの人が興味を持って見学していました。今後のAED普及に少しでも役立てば幸いです。

専門医による健康相談参加者は約150名にもものぼり、家族連れで熱心に聞く人や、長時間にわたって相談する人もいて、多くの人が先生方の丁寧な説明に、とても満足した表情で帰っていきました。

予想以上に多くの人が訪れたことから、参加スタッフより喜びの声とともに、総合案内の設置や、より広いスペースの確保などをご提案いただきました。こうしたご意見を参考に、来年もさらによいイベントにするよう、事務局一同がんばりたいと思います。ご協力いただいた先生方、協力企業の皆様、ありがとうございました。

(事務局・Y.H)



- 日時：**平成17年8月7日(日) 10時から16時
場所：東京駅八重洲地下街 センタースポット
アドバイザー：大川真一郎(霞が関ビル診療所所長)
 加藤 貴雄(日本医科大学第一内科教授)
 久代登志男(駿河台日本大学病院循環器内科助教授)
 杉本 恒明(関東中央病院名誉院長)
 武田 信彬(東京慈恵会医科大学青戸病院総合診療部教授)
 細田 瑳一(榊原記念病院最高顧問)
- 主催：**日本心臓財団
特別協力：フクダ電子株式会社
協力：オムロンヘルスケア株式会社
 カリフォルニア・アーモンド協会
 株式会社タニタ
 八重洲地下街株式会社

書籍紹介

「霞が関半世紀」

古川貞二郎 著 佐賀新聞社刊 A5判
 定価1,800円 2005年3月10日発行



当財団と日本心臓ペースメーカー友の会との出会いをつくっていただいた厚生事務次官、内閣官房副長官を務められた著者の回顧録。

「ペースメーカーの父・田原 淳」

須磨幸蔵 著 梓書院刊 四六判
 定価1,300円 2005年5月10日発行



わが国で初めて心臓ペースメーカーの植え込みに成功した東京女子医科大学名誉教授の著者が最も尊敬する心臓刺激伝導系を発見した田原淳博士の生涯を描いた伝記。

「白衣を脱いだらみな奇人」

平盛勝彦 著 日本評論社刊 四六判
 定価2,000円 2005年6月10日発行



岩手医科大学を定年退職された著者の人柄がにじみ出ている医学と医療のあり方について書かれた書。

第13回日本心臓財団・ファイザー 高血圧・高脂血症と血管代謝

— 研究助成対象者決定 —

当財団ではファイザー株式会社の協力のもとに、心臓血管病の予防という観点に立ち高血圧及び高脂血症の分野において研究を行う40歳未満の少壮研究者に対して助成しました。

本研究助成に55題(基礎分野40題、臨床分野15題)の応募があり、5月20日に開催された第一次選考

委員会(選考委員27名)でこの中から基礎分野11題、臨床分野4題の計15題が選ばれました。第二次選考は、7月2日開催の研究発表会で選考された15名の応募者による発表をもとに審査され、最優秀賞5題(各100万円)、優秀賞10題(各40万円)が選考されました。

研究助成対象者

(敬称略、金額単位：万円)

番号	氏名	所属	研究課題	金額
1	小林 拓也 (37歳)	京都大学大学院 医学研究科 神経細胞薬理学	動脈硬化の発症・進展におけるプロスタノイドの役割解明	100
2	佐藤 哲子 (38歳)	独立行政法人国立病院機構・ 京都医療センター 臨床研究センター代謝研究部・ 臨床代謝栄養室	メタボリックシンドロームにおける食後高血糖及び食後高脂血症改善による動脈硬化進展抑制について —酸化ストレスと接着因子の関与について—	100
3	新藤 隆行 (38歳)	信州大学大学院 医学研究科 臓器発生制御医学講座	アドレノメデュリンによる心血管保護作用機序の解明と治療応用	100
4	松山 晃文 (37歳)	大阪大学医学部附属病院 未来医療センター	HDLによる抗炎症作用の新規機序—HDLが結合によりその作用を抑制するproinflammatory cytokineの同定	100
5	安川 秀雄 (39歳)	久留米大学 循環器病研究所	Gp130標的遺伝子SprrlaとSocs3の圧負荷心筋における機能解析	100
6	明石 真 (31歳)	佐賀大学医学部 循環器内科学 血管不全学講座	体内時計の異常による循環器疾患誘発の分子メカニズムの解析とその予防医学的応用	40
7	小林 一貴 (33歳)	千葉大学大学院 医学研究院 治療探索研究寄付講座	Smad3シグナルの欠損は高脂血症モデルマウスにおける粥状動脈硬化病変を著しく増大・不安定化する	40
8	日域 大輔 (33歳)	広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 心臓血管生理医学	Geranylgeranylacetone (GGA) の血管機能に及ぼす影響の検討：GGAはheat shock protein 90 (HSP90) の発現を促進し一酸化窒素(NO)産生系を亢進することにより血管内皮機能を増強させる	40
9	島村 宗尚 (32歳)	東京大学大学院 医学系研究科 先端臨床医学開発講座	脳への遺伝子導入法の開発と虚血性脳血管障害への応用	40
10	鈴木 淳一 (39歳)	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 循環制御内科学	動脈硬化における炎症の関与と遺伝子導入によるその制御：臨床に応用された基礎的研究	40
11	中尾 陸宏 (39歳)	帝京大学医学部附属病院 心療内科	血圧、血清コレステロール、ならびに自律神経機能が脈波伝播速度に及ぼす影響の定量的評価	40
12	宮下 和季 (33歳)	京都大学大学院 医学研究科 臨床病態医科学	アドレノメデュリン単独過剰発現トランスジェニックマウスの開発と脳梗塞モデルにおけるアドレノメデュリンの血管再生、神経再生作用の同定と治療応用の可能性	40
13	森本 聡 (38歳)	近江八幡市民病院内科	中枢神経系ニューロン由来のレニンの慢性的発現亢進は高血圧を惹起する	40
14	山上 宏 (36歳)	大阪大学大学院 医学系研究科 循環器内科学	HMG-CoA還元酵素阻害薬による頸動脈プラーク性状および血中炎症マーカー濃度の変化	40
15	渡邊 博之 (38歳)	秋田大学医学部 内科学講座循環器 内科学分野・呼吸器内科学分野	新規Ca流入チャネルによる高血圧性心肥大シグナルの制御	40

財団法人日本心臓財団役員

平成17年3月開催の評議員会にて理事、監事の選任と、理事会にて評議員、顧問の選任が行われました。

5月25日の理事会で新理事の互選により会長、副会長、理事長、常任理事がそれぞれ選出されました。

理 事

会 長	平岩 外四	東京電力株式会社顧問
副 会 長	杉本 恒明	公立学校共済組合関東中央病院名誉院長
理 事 長	志立 託爾	三菱信託銀行株式会社最高顧問
常任理事	篠山 重威	労働福祉事業団浜松労災病院院長
常任理事	椎名 武雄	日本アイ・ビー・エム株式会社最高顧問
常任理事	竹下 彰	株式会社麻生飯塚病院顧問
常任理事	外山 淳治	愛知県病院事業庁庁長
常任理事	中村 芳夫	社団法人日本経済団体連合会専務理事
常任理事	樋口 公啓	東京海上日動火災保険株式会社相談役
常任理事	矢崎 義雄	独立行政法人国立病院機構理事長
常任理事	栄木 憲和	バイエル薬品株式会社社長
常任理事	大賀 典雄	ソニー株式会社名誉会長
常任理事	小川 聡	慶應義塾大学医学部内科学教授
常任理事	北畠 顕	医療法人社団カレスサポロ臨床研究担当顧問
常任理事	北村惣一郎	国立循環器病センター総長
常任理事	櫻井 秀也	社団法人日本医師会副会長
常任理事	高藤 鉄雄	三共株式会社会長
常任理事	山口 武典	国立循環器病センター名誉総長
常任理事	山口 徹	国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長

監 事

末松 謙一	株式会社三井住友銀行名誉顧問
細田 瑳一	日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院最高顧問

評 議 員

【経済界等】	青木 初夫	アステラス製薬株式会社会長
	大澤 昭夫	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社社長
	萩野 和郎	日本光電工業株式会社社長
	金子亮太郎	明治安田生命保険相互会社社長
	木下 恭輔	アコム株式会社会長
	塩野 元三	塩野義製薬株式会社社長
	ソレン・セリダー	ファイザー株式会社社長
	高木 茂	三菱地所株式会社相談役
	土井 貞臣	トーアエイヨー株式会社会長
	内藤 晴夫	エーザイ株式会社社長
	永山 治	中外製薬株式会社社長
	西川 章	三菱マテリアル株式会社相談役
	長谷川閑史	武田薬品工業株式会社社長
	葉山 夏樹	田辺製薬株式会社社長

顧 問

植松 治雄	社団法人日本医師会会長
尾前 照雄	国立循環器病センター名誉総長
河合 忠一	京都大学名誉教授
川島 康生	国立循環器病センター名誉総長
佐波 正一	株式会社東芝相談役
山田 和生	名古屋大学名誉教授

福田孝太郎	フクダ電子株式会社社長	
森田 清	第一製薬株式会社社長	
吉野 泰生	住友生命保険相互会社会長	
【医学界】	有田 眞	湯布院厚生年金病院院長
	上島 弘嗣	滋賀医科大学福祉保健医学教授
	上田 一雄	医療法人杏林会村上記念病院院長
	笠貫 宏	東京女子医科大学循環器内科学教授
	上松瀬勝男	日本大学総合科学研究所教授
	北 徹	京都大学大学院医学研究科循環器内科学教授
	児玉 逸雄	名古屋大学環境医学研究所教授
	児玉 和紀	財団法人放射線影響研究所疫学部長
	小柳 仁	聖路加国際病院ハートセンター所長
	澤井 廣量	社団法人日本循環器管理研究協議会事務局長
	白土 邦男	東北大学名誉教授
	高野 照夫	日本医科大学第一内科学教授
	鄭 忠和	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科循環器・呼吸器・代謝内科学教授
	豊嶋 英明	名古屋大学大学院医学系研究科公衆衛生学教授
	永井 良三	東京大学大学院医学系研究科循環器内科学教授
	仲村 英一	財団法人結核予防会理事長
	平岡 昌和	厚生労働省労働保険審査会委員
	堀 正二	大阪大学大学院医学系研究科病態情報内科学教授
	村山 正博	横浜市スポーツ医科学センター長
	門間 和夫	東京女子医科大学名誉教授
	山口 巖	筑波大学臨床医学系内科学教授
	横山 光宏	神戸大学大学院医学系研究科循環呼吸器病態学教授

ご支援ありがとうございます

本年度も賛助会員としてご支援をいただいた方のご芳名を掲載します。

(敬称略：2005年5月1日～8月22日)

相澤 忠範	大国 真彦	加藤 正明	佐野 俊二	竹下 彰	早野 元信	武者 春樹
青柳 成明	大島 文雄	金丸 憲司	佐波 正一	武田 信彬	原岡 昭一	村田 和彦
秋田 泰司	大村外志隆	鎌倉 史郎	志立 託爾	田中 弘允	原田久美子	村山 正博
新 博次	大和田憲司	河合 忠一	柴田仁太郎	田中 元直	半田俊之介	望月 茂
阿部 圭志	岡崎 修	川崎 富作	島田 和幸	谷口 興一	比江嶋一昌	望月 正武
有田 眞	岡島 光治	川田 志明	島本 和明	塚本 宏	日和田邦男	守田 哲朗
飯村 攻	岡田幾太郎	川田 治義	嶋本 喬	辻 幸臣	福慶 逸郎	八木 洋
石井 當男	岡田 了三	川名 正敏	下川 宏明	鶴田 敏博	福田 恵一	八木田佳樹
石川 雄一	岡本 登	河村慧四郎	下光 輝一	土居 義典	福田 圭介	矢崎 義雄
石原 正	小川 聡	上松瀬勝男	下村 克朗	戸嶋 裕徳	福田孝太郎	安井 健二
市川 悦	小川 勝	菊池健次郎	白土 邦男	友池 仁暢	藤田 正俊	安井 昭二
一色 高明	荻野 和郎	岸田 浩	末田泰二郎	豊嶋 英明	古川 裕	泰江 弘文
井出 満	荻原 俊男	北畠 顕	菅 弘之	永井 良三	細田 瑳一	矢永 尚士
伊藤 七郎	奥村 謙	北村惣一郎	杉澤 和美	長澤 一成	細野 清士	矢吹 壮
伊藤 隆之	小澤 高将	木之下正彦	杉本 恒明	中野 赳	松浦 秀夫	山口 巖
岩崎 忠昭	小澤 利男	木村 和雄	鈴木 一夫	永野 允	松浦雄一郎	山口 徹
岩 喬	小野寺庚午	木村玄次郎	鈴木源次郎	仲村 英一	松尾 裕英	山下 武志
上田 一雄	小野 幹彦	久家 英子	鈴木 常雄	中村 芳夫	松岡 博昭	山科 章
植松 治雄	尾前 照雄	楠岡 英雄	須磨 幸蔵	仁村 泰治	松澤 佑次	山田 登章
打田 俊司	尾本 良三	楠川 禮造	住吉 昭信	野村 雅則	松永 正人	山本 章
梅村 敏	笠貫 敏	栗原 敏	千田 彰一	橋場 邦武	松原 達昭	渡辺 滋務
浦澤 一史	梶谷 文彦	古賀 義則	ソーレン・セリンダ	橋本 敬太郎	松本 万夫	渡辺 渡部
江頭 健輔	梶原 長雄	後藤 紘司	高野 照夫	橋本 勉	馬淵 宏	渡部 良夫
江藤 胤尚	片見 初江	斎藤 能彦	高本 眞一	篠野 脩一	水重 克文	
遠藤 勝男	勝村 達喜	佐地 勉	瀧下 修一	馬場源一郎	三迺 信一	他20名
遠藤 政夫	加藤 逸夫	佐藤 和子	武内 敦郎	馬場 俊六	宮崎 治浪	
大内 尉義	加藤 貴雄	佐藤 友英	竹越 襄	林 輝美	宮下 英夫	

当財団へのご寄付

次の方からご寄付を頂戴しました。ここにご芳名を記して感謝の意を表します。(2005年5月～2005年8月)

来島 絹代 様	徳島市	970,000円
(心筋炎の治療研究に)		
福田 正貫 様	広島県三次市	2,000円
サンデン株式会社 様	東京都台東区	132,000円
神田 忠幸 様	三重県鈴鹿市	50,000円
匿名		300,000円
株式会社東横イン 様	東京都大田区	100,000円
佐川 清 様	茨城県常陸太田市	10,000円
匿名		700円
多田 勇 様	茨城県水戸市	100,000円
吉岡 貞二 様	茨城県水戸市	60,000円
匿名		10,000円
(切手の寄付)		
岡本 登 先生	名古屋市	8,000円
鎌田 信夫 様	福島県いわき市	9,200円



●お近くにお越しの際はお立ち寄り下さい。●

●心臓財団からのお願い●

～ご寄付ならびに賛助会ご加入～

当財団が循環器疾患の予防・制圧事業を展開するうえで、その多くは寄付金ならびに賛助会費により支えられております。あなたのまわりの方にもぜひ呼びかけてください。

ご寄付はいくらでも受けさせていただいております。当財団は「特定公益増進法人」として認可を受けておりますので、税制上の優遇措置が講じられております。

賛助会は日本心臓財団の目的に賛同し、その働きを支援する方々、法人によって構成されています。賛助会費は、個人の場合、年額1万円、法人の場合は5万円でも差し支えありません。

ご支援いただける場合は、下記の口座をご利用ください。

郵便振替口座 00140-3-173597

宛て先 財団法人日本心臓財団